学生用資料

**Barthel Indexを活用したADLの評価演習**

**１．バーセルインデックス（Barthel Index）とは**

* バーセルインデックスは、患者がどれだけ日常生活の活動を自立して行えるかを示す指標。
* 検査項目は、食事、移動、入浴、トイレ、着替え、排便、排尿、移動など、10項目で構成。
* 各項目に点数がつけられ、合計点で患者の自立度を評価する。
* （0点：完全介助、100点：完全自立）。

**２．課題　＜以下の状態の患者をバーセルインデックスを使用して評価・アセスメントしなさい＞**

**名前**: Aさん　**年齢**: 78歳

**診断**: 転倒による右大腿骨骨折、術後リハビリテーション中

**入院時の状態**: 右脚に疼痛があり、歩行が困難。右の股関節や膝関節の可動域に縮小がみられる。手術後の回復を目指してリハビリを行っているが、動作に支援が必要。高血圧や２型糖尿病などの基礎疾患もあり。

**目標**: 自宅での生活に戻るため、できるだけ早期に自立を取り戻すこと。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 状態 | 点数 |
| 食事 | 自力で食事を取ることができるが、下肢の疼痛にて食器を運ぶ際には支援が必要。 |  |
| 車椅子とベッドの移動 | 車椅子に移乗する際、痛みと足の力不足で自力で移動できず、移乗には全介助が必要。 |  |
| 整容 | 歯を磨くことができる。バランス保持の支援が必要。 |  |
| 用便動作 | トイレへの移動に介助が必要で、姿勢保持が安定していない。 |  |
| 入浴 | シャワー使用はできるが、立位や座位が不安定で、看護師のサポートが必要。 |  |
| 平地歩行 | 車輪付き歩行器を使用して、見守りの元歩くことができる。疼痛があり長時間の歩行は困難。 |  |
| 階段昇降 | 階段を昇降する能力がない。リハビリ中で、階段昇降の訓練はまだ始まっていない。 |  |
| 更衣 | 上半身の更衣はスムーズだが、ズボンの着脱には介助が必要。 |  |
| 排便コントロール | 意識的に排便を我慢し、排便ができる。 |  |
| 排尿コントロール | 意識的に排便を我慢し、排便ができる。 |  |
|  | **合計** |  |

解答例：教員用資料

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 状態 | 点数 |
| 食事 | 自力で食事を取ることができるが、下肢の疼痛にて食器を運ぶ際には支援が必要。 | 10 |
| 車椅子とベッドの移動 | 車椅子に移乗する際、痛みと足の力不足で自力で移動できず、移乗には全介助が必要。 | ５ |
| 整容 | 歯を磨くことができる。バランス保持の支援が必要。 | ５ |
| 用便動作 | トイレへの移動に介助が必要で、姿勢保持が安定していない。 | ５ |
| 入浴 | シャワー使用はできるが、立位や座位が不安定で、看護師のサポートが必要。 | ０ |
| 平地歩行 | 車輪付き歩行器を使用して、見守りの元歩くことができる。疼痛があり長時間の歩行は困難。 | 10 |
| 階段昇降 | 階段を昇降する能力がない。リハビリ中で、階段昇降の訓練はまだ始まっていない。 | 0 |
| 更衣 | 上半身の更衣はスムーズだが、ズボンの着脱には介助が必要。 | 5 |
| 排便コントロール | 意識的に排便を我慢し、排便ができる。 | 10 |
| 排尿コントロール | 意識的に排便を我慢し、排便ができる。 | 10 |

＜合計点数の計算＞

合計点数 = 10 + 5 + 5 + 5 + 0 + 10 + 0 + 5 + 10 + 10 = 60

＜アセスメント＞

* 日常生活のほとんどの活動において支援が必要な状態で、特に【　移乗、歩行、入浴、排泄　】などに支援が必要。合計点数65点は、軽度から中度の支援が必要な状態を示している。
*
* **評価の重要性:** Aさんのバーセルインデックスの評価を行うことで、看護計画を立てる際に、どの部分にどれだけ支援が必要かを明確にすることができる。

**評価：**日常生活のほとんどの活動において支援が必要な状態で、特に【移乗、歩行、入浴、排泄】などに支援が必要。合計点数60点は、軽度から中度の支援が必要な状態を示している。

**評価の重要性:** Aさんのバーセルインデックスの評価を行うことで、看護計画を立てる際に、どの部分にどれだけ支援が必要かを明確にすることができる。

**＜バーセルインデックスの合計点数による自立度分類＞**

**91～100点**: **完全自立**

日常生活全般において、すべて自立しており、支援なしで行動可能。

**61～90点**: **軽度の支援が必要**

日常生活の一部で支援が必要だが、基本的な活動は自立して行える。

**軽度の支援が必要**な患者は、例えば移動や食事準備、入浴などで一部支援を受けている状態。

**31～60点**: **中等度の支援が必要**

いくつかの活動で支援が必要であり、患者の自立度は限定的。

日常生活の多くに支援が求められる。リハビリテーションやさらなる支援が必要。

**0～30点**: **重度の支援が必要**

日常生活動作のほとんどが支援なしでは行えない。全介助が必要な状態。

活動の多くに介助が求められ、多くの介助やリハビリテーションが必要。

注※あくまで目安です。